

会議等の概要（議事録）

名 称	市民の皆さんとミーティング（地域巡回）③
開催日時	平成28年7月21日（木） 19:00～20:10
開催場所	檜山地域センター 多目的ホール
出席者	市民参加者…11人 市長、企画部長、次長、総合政策課参事・楠佐、生涯学習・スポーツ振興課長、総務課秘書係長・主査、地域情報課長・広報広聴係長、檜山地域センター所長
案 件	①市長市政報告 ②市民の皆さんとミーティング（意見交換）
概 要	①市長市政報告 ・能代市の現状 ・能代市がめざすまちづくり ・能代市まち・ひと・しごと創生総合戦略、人口ビジョン ・再生エネルギーについて ②市民の皆さんとミーティング（意見交換） Q 能代工業高校生を対象にエネルギーの講座を行ったとのことだが、どのような内容か。 A 火力発電については東北電力に、風力発電については県立大に講師をお願いして講座を行った。市内では、機械工業会で風力発電のヘッドローダーのメンテナンスを行っており、日立パワーソリューションズのトレーニングセンタでは風力発電設備のメンテナンスの研修もできるようになる。 Q 飛鳥Ⅱの見学に行った時に風力発電の羽を見た。いつ完成するのか。 A 8基完成し、これからのこり9基の建設となる。この風力発電には市も1千万円出資している。 Q H26年に第2次まちづくり計画で「歴史の里を生かしたまちづくり」を掲げている。檜山城跡について、話し合いができる場を作ってほしい。 A 皆さんからお話を聞き、一緒にやっていきたいと思っている。 城下町としては、歴史があるが街並みが残っていない、発掘調査の中で檜山城跡についてどうしていくか考えたい。 Q 孫が年長である。崇徳小学校の統合はいつ頃になるか。 A 今年から小規模校の関係者と話し合いが始まった。保護者や地域の方から意見を聞くので、参加して意見を言ってほしい。 Q 以前の勤め先は、必要な部品を在庫するのではなく、配達させていた。大阪から秋田には次の日に着かない。フェリーがあれば寝ている間に着く。能代港を活用し、物流を促進してはどうか。 A 能代港を重要港湾にし、リサイクルポートにした。廃家電を陸揚げし、小坂への運

送を考えたが、量が少ないため港の活用にはならなかった。

また、能代港の岸壁は強度が弱いため重い物に対応できない。クレーンの設置も必要になる。港の整備を行い、市内事業者の荷物の運送に能代港を使用できるようにしたい。

Q 火力発電の廃材の活用はどうなっているか。

A コンクリートの原料となるフライアッシュが出ている。これを使い道路の路盤の材料を作る会社ができ、10人位の地元雇用を生んだ。